

令和5年度 中央区立明石幼稚園 外部評価報告書
<p>評価委員：守本利雄、石井吉郎、中川理巳、箱守由記、牛嶋智春、桑原洋一、矢田雄滋 須田桐美、渡辺幸雄、岩上芳照（敬称略）</p>
<p>評価時期 令和6年2月</p>
<p><b>1 重点目標の評価</b></p> <p>○回収率は今年度も100%となっている。評価が全体的に高く、目標が達成できていると受け止めた。また、先日、幼稚園の保育の様子を見に行った際、年長児が自分たちで育てたキャベツを収穫する様子を見た。その際、子どもたちも驚いていたが、自分自身もキャベツの根っこがどれだけ長いかを知る機会となった。このような実体験を大切に、日々、教育が行われていることが分かった。</p> <p><b>重点目標1「多様な動きを経験できる遊びを取り入れ、体を動かして遊ぶことを楽しむ幼児を育む」</b></p> <p>○資料の3学期の様子や園評価から、幼稚園で毎日、子どもたちが楽しく遊ぶ中で、体力が向上するよう、先生方が工夫していることが分かった。</p> <p><b>重点目標2「園内の環境を活かした指導の工夫を図り、夢中になって遊ぶ幼児を育む」</b></p> <p>○幼稚園の保育を見に行った際、子どもたちが登園すると進んで身支度を行い、身支度を終わると、自らやりたい遊びを見付け、遊び場を作る姿が見られた。子どもたちの自主性を重んじ、支えているからこそその姿だと感じた。</p> <p>○先日、園長先生から、先生方が意欲的に働いているということを伺った。今回の学校評価で、保護者の自由記述の中で「保護者会や学級懇談会に参加するため、早めに予定が知りたい」という意見が挙がったと聞き、参加への意欲があることが感じられた。教職員と共に、保護者も積極的に幼稚園の行事に参加していることが感じられた。</p> <p><b>重点目標3「異年齢児や様々な方との関わりを通して、思いやりの心を育む」</b></p> <p>○2学期から3学期の活動内容や、評価からも、小学校・幼稚園共に協力しながら、交流していることが分かった。併設園のよさを活かして活動していることに嬉しさを感じる。</p> <p><b>2 今後の改善に向けた意見</b></p> <p>○明石幼稚園の預かり保育ではないが、他施設で、遊べずに過ごす幼児の姿が見られた。4月から明石幼稚園の預かり保育が民間委託となるが、引き続き、丁寧に見ていってほしい。</p> <p><b>3 その他（改善に向けた意見に対して）</b></p> <p>○令和6年4月から、預かり保育が民間委託になるにあたり、子どもたちが安心して通うことができるよう、降園後にその日の引き継ぎを行ったり、預かり保育士と必要に応じて、幼児や家庭の様子について共有したりしていく。</p>